

## 平成30年度在宅医療・介護連携推進事業上半期活動ご紹介

### 在宅医療体制構築の取組みとして

平成30年4月17日 看取り支援グループ構築会議を開催しました。



いちき串木野市全体として高齢化が進む中、いちき串木野市医師会でも、医師の高齢化が進む傾向にあります。そのような現状もあり、訪問診療をしている個々の医師にかかる負担も大きくなっている事が課題の1つとしてありました。医師どおし、もしくは訪問看護師が連携サポートすることで医師負担軽減の解消に繋がるのではないかとこのことで、まずは看取りについて支援グループの体制をつくってみては…との提案があり医師会医療機関11施設の医師の参加協力があり会議開催の運びとなりました。花牟禮推進委員長が議長進行を務められ、9名の医師と訪問看護師参加の基、看取り支援体制構築に向けた熱心な話し合いが行われました。協議の結果、看取りの件数はまだ少ない状況ではあるが、まずは看取り支援の連携協力から始めて行ってはどうかとの賛同を頂き、今年度8月1日から開始することとなりました。今後実績等につきましては、年度ごとにご報告していきたいと考えています。

### 在宅医療・介護連携推進の研修会を開催しています

地域医療・介護関係機関に従事されている専門職の皆様と一緒に在宅医療・介護の連携支援について学び情報を共有して連携をより深めて安心な退院支援・在宅支援の輪を広げて行く事を目的としています。

平成30年2月7日  
医療関係機関対象  
2月21日介護関係機  
関対象に退院支援連  
携をテーマとした事  
例発表の研修会を開  
催しました。地域関  
係機関に従事される  
多職種を対象に同  
内容で実施しました。



事例発表と共に介護  
家族から、在宅介護  
を選択した時の不安  
や実際の在宅介護を  
通しての思いなど講  
話を頂き、多くの参  
加者から分かりやす  
かった。と解答を頂  
きました



平成30年8月22日今年度第1回の研修会を開催しました。医療・介護関係多職種185名の参加があり架空事例を基に地域資源について知ってもらったり、グループワークにより在宅支援について意見交換等を行い、有意義な研修会となりました。